

YOKOHAMA DANCE COLLECTION 2021-DEC



12.3[Fri]-12.19[Sun]

「今は身体へ帰りたい」

横浜赤レンガ倉庫1号館を拠点に毎年開催されている創造的ダンスの祭典。

世界的な振付コンクールの日本プラットフォームとして1996年にはじまり、今回で27回目を迎える。

約500組の振付家を世界に送り出したコンペティションのほか、近年の受賞者による公演、国際的に活躍する振付家による新作、海外のダンスフェスティバルとの連携プログラムなど、多彩なプログラムで構成される。



『あなたへ』“Dears”

伊藤郁女 Ito Kaori (Compagnie Himé)

12月3日(金) 19:00、4日(土) 18:00、5日(日) 18:00

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館3Fホール

欧州を拠点に世界的に活躍する伊藤郁女による日本初演作『あなたへ』は、ダンサーたちそれぞれ亡くなってしまった大切な人たちに書いた手紙から創作された作品。故人と語り、別れを告げ、生者を救済するためのダンス。踊るという手段で「失う」悲しさを乗り越える、生きている証拠を力強く表現する。



Photo: Anaïs_Baseilhac

日米国際共同制作『shuffleyamamba: 山姥は熊を夢見る』

余越保子 Yokoshi Yasuko with ゲルシー・ベル Gelsey Bell

12月9日(木) 19:00、10日(金) 19:00、11日(土) 13:00

会場：横浜にぎわい座のげシャール

ニューヨークを拠点に活動する音楽家 Gelsey Bell と京都を拠点に活動する振付家・映像作家 余越保子による国際共同プロジェクト。能の「山姥」をモチーフに、女性アーティストの視点から芸能におけるジェンダーに切り込む。2017年より制作が開始され、2019年に『shuffleyamamba』として上演。本作は更なるリサーチとクリエイションを経た完成形。



『shuffleyamamba』(2019) Photo: Igaki photo studio

コンペティション Competition



Photo: Sugawara Kota

コンペティション I Competition I

15の国・地域を拠点に活動する84組の応募から、映像・書類審査を通過した4ヶ国10組のファイナリストによる作品上演。

12月11日(土) 15:00 ※上演順未定

ファイナリスト：入手杏奈／香取直登、亀頭可奈恵、中川絢音、Wang Yeu-Kwm、Yang ByungHyun

12月12日(日) 15:00 ※上演順未定

ファイナリスト：大森瑠子、栗 朱音、中西さとこ、中屋敦 南、Xiao Zhiren

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館3Fホール

コンペティション II 新人振付家部門 Competition II New Choreographer Division

振付家としての活動を目指す

25歳以下の新人アーティスト32名から、

映像・書類審査を通過したファイナリスト12名による作品上演。

12月4日(土) 15:00 ※上演順未定

ファイナリスト：斎木穂乃香、徳田美佳、中嶋千歩、橋本真那、平田祐香、吉沢 楓

12月5日(日) 15:00 ※上演順未定

ファイナリスト：浅川奏瑛、伊藤 奨、小林このみ、内藤治水、山口なぎさ、横山未弥

会場：横浜にぎわい座のげシャール

ダンスクロス Dance Cross

12月14日(火) 19:00、15日(水) 19:00

会場：横浜にぎわい座のげシャール

『unisex #01』

敷地理 Shikichi Osamu + イ・ソヒョン Sehyoung Lee

横浜ダンスコレクション2020コンペティションIで若手振付家のための在日フランス大使館賞を受賞した敷地理。約3ヶ月間のフランスでのレジデンス中にフランス拠点のアーティスト Sehyoung Lee と共同制作した、磁力と曖昧な身体を考察する新作を発表。全身を巡るフラップのように一つだったものが分かれていき、その隙間に観客を誘う。



YDC2021『Julicy』 Photo: Sugawara Kota

ムーバーズ・プラットフォーム Movers Platform

12月16日(木) 19:00、17日(金) 19:00、18日(土) 19:00

会場：象の鼻テラス

ディレクター：梅田宏明 Umeda Hiroaki

Movers：大塚郁実／中村優希／林田海里／YULI／Livier Tu／Pobo HUNG／Siko Setyanto／Daria Mikhaylyuk

振付家・ダンサー・ビジュアルアーティストである梅田宏明がディレクターとして考案した、次世代に繋がる振付とダンスに対する価値観を提案するためのプラットフォーム。ユニークなムーブメントボキャブラリーを持つムーバー(ダンサー)の文化性や地域性の影響を受けたその身体にフォーカスをあて、動きそのものの魅力に迫る。



Photo: LIN Yu-quan

ダンスコネクション Dance Connection

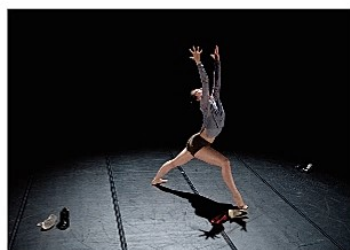
12月18日(土) 17:00、19日(日) 17:00

会場：横浜にぎわい座のげシャール

『エピセンター』“epicenter”

女屋理音 Onaya Rion

横浜ダンスコレクション2021コンペティションIIで最優秀新人賞を受賞した女屋理音の最新作。地震の震源地を意味するエピセンターは、新型コロナウイルスにおいて感染集積地という意味でも使われる。今の社会情勢の中、揺れの始まるきっかけと人々の想い、揺らいでいく物事の輪郭にフォーカスする。



YDC2021『I'm not a liar.』 Photo: Oono Ryusuke

『INA.0』

パロマ・ウルタード Paloma Hurtado + ダニエル・モラレス Daniel Morales

スペインの国際ダンスフェスティバル MASDANZA との連携によるプログラム。Paloma Hurtado と Daniel Morales は、共にスペインカナリア諸島テネリフェ島を拠点に活動する。『INA.0』は、光の概念に焦点をあてた作品。困難な社会情勢の状況下を生きぬくため、物事の源である光に立ち戻る必要性を問う。26MASDANZA (2021年)コンペティションのファイナリスト作品。



Photo: Luca Lorenzo Sala

さらに「青空ダンス」「ダンス保育園!!」をオンラインにて開催

